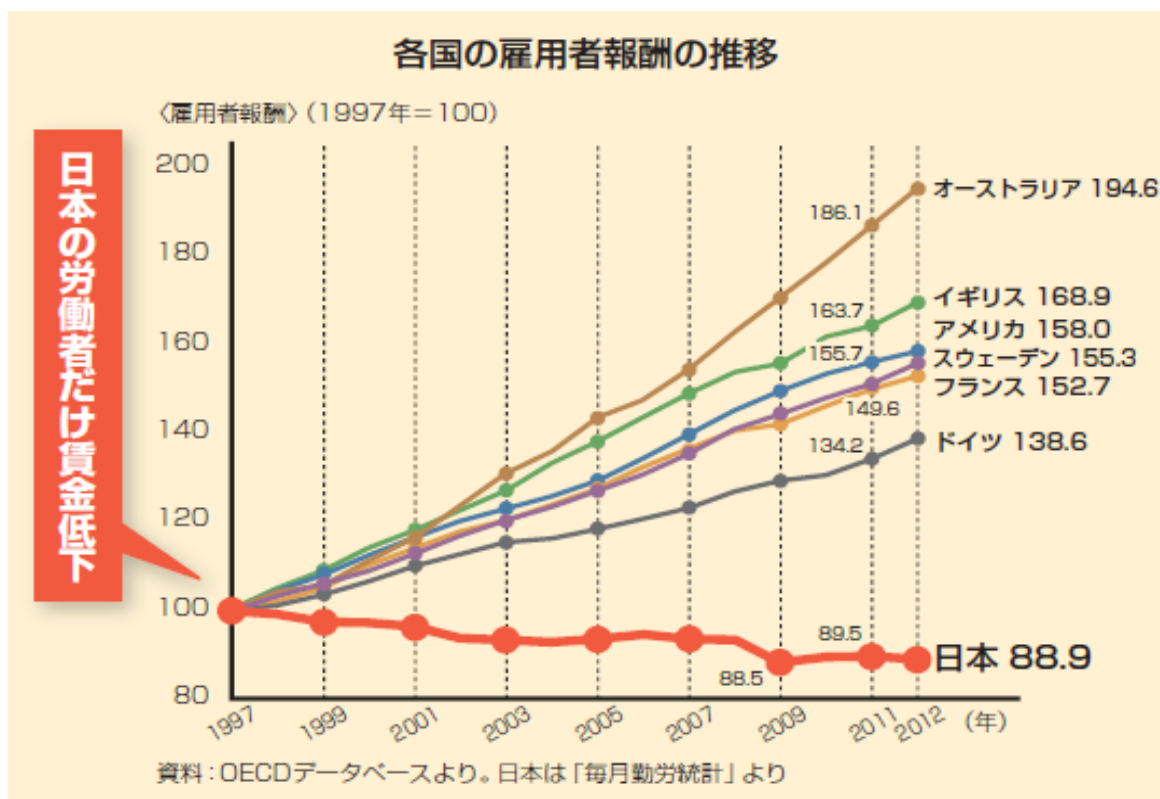


医労連速報 '14春闘

2014年2月4日 No.4 東京都台東区入谷1-9-5 日本医労連 tel 03-3875-5871

賃上げが日本経済を救う！

賃金が下がっているのは日本のみ



同じように経済が低迷している状態の中で、唯一、日本だけが大きく賃金を下げています。1997年を100としてみると、世界各国が1.5倍から1.7倍にも賃金を改善させる一方で、日本は88.9%と大きく差をつけられています。この15年間で、467万円から408万円と59万円の減少です。

日本医労連の一時金平均(月数)をみても、1998年の夏は2.07ヵ月、秋2.751ヵ月で平均額129万5660円、2013年では夏1.683ヵ月・秋1.857ヵ月、平均額で93万4327円になっています。その差は、1.281ヵ月・36万円にもおよび、単純に言えば、1998年の30歳に比べて2013年の30歳は36万円も年収が低いということになります。ベースアップゼロに甘んじていれば、賃金改善は永遠にありません。大幅賃上げで、生活改善と日本経済の再生をさせるのは、私たち労働者です。大幅賃上げを勝ち取る決意と体制でのぞみましょう！！

2月末まで要求提出・スト権確立を！